

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【特別の教科 道徳】

書名 項目	<b>新編 新しい道徳</b>	2 東書
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・内容項目は示さず、教材ごとの学習のテーマをタイトルの横に示している。また、タイトルの下に、教材のねらいに迫るセリフの入った漫画の1コマを載せるなどして、生徒の興味関心を引く工夫をしている。 ・巻頭では、道徳科とは何かということや、授業の流れを提示しており、生徒が道徳を学ぶ意義を考えることができる。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・生徒の活発な議論を促す「考えよう」の発問と、教材から離れて自分を見つめる「見つめよう」の発問が用意されており、考えを広げたり深めたりできるようになっている。 ・従来の教材の終末部分を削除し、朗読時間を短くしたことによって、生徒が考えたり、話し合ったりする時間を長く取れるように工夫されている。また、全ての教材に考えたことを記入できる「つぶやき」が設けられ、記述した内容を話し合いに活用できるようになっている。 ・巻末に心情円とホワイトボードがついていて、話し合い活動や相互理解に繋げることができる。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・生徒の身近な人物を取り上げる等、幅広い教材を取り扱っている。5つの現代的課題をテーマにしており、特にいじめと命に関する教材は、3つの資料をユニット化し、続けて学べるようになっている。 ・教材と関連したテーマをさらに深化・拡充するためのコラムが多数掲載されている。特にソーシャルスキルのためのコラムが全学年で用意されている。 ・巻末に用意された学期ごとの振り返り用紙を使い、生徒が学びのフィードバックができるようになっている。
その他	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
	○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・役割演技で学ぶ「体験的な学習」や、話し合いを哲学対話「p4c」として行うコラムが全学年に用意されており、言語活動の充実が図られている。 ・「防災」と「情報モラル」をテーマにした教材が全学年用意されており、それらのテーマとともに道徳的諸価値について考えることができるように工夫されている。 ・教材のタイトル下に、その教材と関連する教科が示されており、二次元コードから、関連する教科の教科書のページを見ることができるようになっている。
その他	<資料の構成・配列や表記・表現>	
	○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・会話の場面を文章ではなく、写真を掲載し説明することで、生徒が実際の場面をイメージできるように工夫されている。また、全ての教材に二次元コードがあり、教材の補足資料や関連動画を見たり、朗読音声やデジタル心情円を使ったりすることができる。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・資料の内容が簡単にわかる4コマ漫画が掲載されていたり、動画が用意されていたりする。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【特別の教科 道徳】

書名 項目	中学道徳 とびだそう未来へ		17 教出
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びたくなるめあての提示の工夫</li> <li>・課題解決に向けた「見通し」の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教材に内容項目は明示せず、学習の見通しを持ったり、学習テーマを共有したりするための問いが、教材のタイトル下に提示されている。このことから、その教材を通して考えていくことを導入の段階で生徒に意識づけることができるようになっている。</li> <li>・巻頭では、道徳科の授業での学び方や話し合いのポイントがまとめてあり、授業の流れがわかるように工夫されている。</li> <li>・教材のタイトル下に二次元コードが表記され、導入で活用することができる資料や動画が用意されていたり、教材の内容を簡潔にまとめて要点をわかるようにしたものが掲載されていたりしている。</li> </ul>	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自身の思考を広げ深める工夫</li> <li>・学び合いの視点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの道しるべ」という3段構造になった問いで、道徳的諸価値について考えを深めることができるように工夫されている。</li> <li>・学期に1回設けられている「やってみよう」のコーナーでは、役割演技やリフレーミングなど体験的な学習により、生徒が実生活に繋げて考えられるように工夫されている。</li> </ul>	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫</li> <li>・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫</li> <li>・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめをなくそう」「つながり合って生きる」「命を輝かせる」の3つを重点的なテーマに位置づけ、2つの教材から続けて学習できるようになっている。</li> <li>・小学校から中学校、さらにその先の進路とのつながりを意識し、生徒の発達段階に即した教材を系統的に配置している。</li> <li>・巻末にある学期ごとの振り返りシートを活用し、生徒が学びのフィードバックができるようになっている。また、1年間の学びを通して「よりよく生きること」について考えさせる場面が設けられている。</li> </ul>	
その他	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
	<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動</li> <li>・情報活用能力</li> <li>・問題発見・解決能力の視点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決的な学習や役割演技など、多様な指導方法を取り入れ、言語活動の充実を図っている。</li> <li>・全ての教材に「まなびリンク」の二次元コードが表記され、リンク先では、思考ツールや心情メーターなどの様々なデジタルコンテンツを使用し、生徒の話し合い活動の充実を図ることができるようになっている。</li> <li>・巻末に教材毎の関連する教科とSDGs目標が示されている一覧がある。</li> </ul>	
	<資料の構成・配列や表記・表現>		
	<p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーユニバーサルデザインを取り入れている。また、グラフ等の資料の配色の工夫や、行に打たれた数字や点など、視覚的に生徒の理解を助ける工夫がされている。</li> </ul> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒がイメージしづらい場面では、挿絵や写真で状況がわかるように提示されている。難しい言葉には脚注をつけ、意味を簡潔に説明している。</li> </ul>		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【特別の教科 道徳】

書名 項目	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき	38 光村
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・道徳の内容項目を生徒がイメージできるように「22のキーワード」として表現し、各教材のタイトルの横にめあてを提示している。また、全学年の巻頭詩は生徒のその時期の心情や発達段階に合わせたものとなっており、共感を得られるものとなっている。 ・巻頭では、道徳の授業で大切にしたいことや、ポイントをまとめて載せており、授業へ見通しが持てるように工夫されている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・「考えよう」「見方を変えよう」「つなげよう」の流れで発問が組まれており、生徒が思考を広げたり深めたりできるように工夫されている。 ・「学校生活・集団生活の充実」について学ぶ教材を中心に、生徒同士で話し合う活動が設けられている。 ・生徒自身に発問を考えさせる場面や、役割演技で学ぶ場面などが設けられており、生徒同士で意欲的に学び合いができるように工夫されている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・生徒に考えさせたいテーマを8つに分け、学びのテーマに合わせて教材が配置されている。また、巻頭にテーマの道標が示されており、生徒が見通しを持って学習に取り組むことができる工夫がされている。 ・「つなげよう」の発問では、これまでに学んだ教材に立ち返ってもう一度考えることができるようになっており、学びの繰り返しができる。 ・巻末に「学びの記録」がついており、授業で考えたことを毎回記録していくことができるようになっている。
その他	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
	○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・話し合ったり考える場面、読んで考える場面、書いて考える場面、演じて考える場面が意図的に設定されており、言語活動の充実が図られている。 ・「問題解決的な学習」を取り入れた教材が複数入っており、自ら課題を考えたり、その改善策を話し合ったりできるように工夫されている。 ・巻末で、現代的な課題等との関わりや他教科・領域との関連が示されている。
	<資料の構成・配列や表記・表現>	
	○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・生徒の身近な題材を取り上げた資料や、漫画、コラムなど様々な形態の教材が用いられており、生徒の興味関心を引く工夫がされている。その他の教材においては、写真や資料を豊富に載せており、生徒がイメージできるようになっている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・デジタル教科書で字体を変えたり、背景色を変えられるようになっていたり、様々な生徒への支援（ユニバーサルデザイン）が施されている。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【特別の教科 道徳】

書名 項目	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート	116 日 文
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・すべての教材の冒頭に「学びのキーワード」が記載され、生徒が見通しをもって主体的に学習できるよう配慮されている。 ・生徒の発達段階に即し、「ねらい」を達成するための発問が予め教科書に掲載されている。 ・問題解決的な学習に適した教材には、学習のステップとして「問題把握→自力解決→集団検討→まとめ」を取り入れ、主体的、対話的で深い学びとなるよう構成されている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・「学びを深めよう」の「学びを深めるヒント」には、考えを深めるための実践的な資料や思考ツールが例示され、より多面的、多角的に、深い学びが得られるように工夫されている。 ・対話的・協働的な学びの実現のため、グループトークや、付箋や思考ツールを活用した議論の方法が示されている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・「いじめ」や「よりよい社会」に関する内容については、複数の教材やコラムがユニット化され、年間の中で複数設定されている。これにより1年間の学習の流れを重視しながら、より深い学びが得られるよう工夫されている。 ・中学校3年間の発達段階を考慮し、系統的・発展的に学習できるよう各学年のテーマを設定している。 ・別冊『道徳ノート』を活用することを通して、生徒が自らの成長を実感し、自分の生き方に誇りが持てるよう配慮されている。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・教材以外に多種多様なコラムが掲載されており、他教科との関連や実生活に生かすことができるよう工夫されている。 ・別冊『道徳ノート』には、友達の意見や話し合いをメモすることができ、多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。 ・コラムではインターネットやSNS、AIの特徴と注意点などが取り上げられ、教科等横断的な情報活用能力の育成、およびプログラミング教育に資するよう配慮されている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・身近な生活場面やスポーツ選手の教材、漫画形式やグラフを扱う教材など、生徒の学習意欲を喚起できるよう工夫されている。また、全ての教材に二次元コードがあり、朗読音声や心情メーター、思考ツールを活用でき、補足資料などをウェブサイトで見ることができる。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・教材の読み取りに必要な補足説明がなされ、漢字のすべてに振り仮名がつけられている。図版が鮮明で大きく配置されている。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【特別の教科 道徳】

書名 項目	新版 中学生の道徳 明日への扉	224 学研
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・道徳の学びへのイントロダクションとして、見開き写真や心を耕す言葉が、道徳への向き合い方として示されている。 ・巻頭で、多様な学び方、思考ツールの使い方、ICT 活用に関する紹介をしている。 ・現代的な課題とともに自分自身を見つめることができるページも巻頭に設けられている。考えを深める四つのステップを元に、現代的な課題への関心と課題に取り組む意欲を生み出し、学びの見通しが立てられる構成になっている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・生徒が主体的に課題を発見し、考えを深めるために、教材の前に主題名を示さず、多様な考えを引き出せるよう工夫されている。 ・異なる視点の提示や、教材中の問いに対して、自分の意見を記入できるメモ欄を設け、話し合いに生かすことができる。 ・教材末にある「深めよう」に「見つけよう・考えよう・話し合おう・生き方につなげよう」と段階ごとに発問が添えられている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・「情報モラル」や現代的な課題（防災・福祉など）に関しては、生徒の発達段階に応じて、全学年で取り上げられ、生徒が自分の事として考えられるよう工夫されている。 ・学期ごとに学びについて振り返れる「学びの記録」が巻末についている。巻末の「未来の扉」にはワークシート教材もあり、自己評価や振り返りといったポートフォリオとして活用できる。 ・「SDGs」や「キャリア教育」に関しては全学年でユニット学習としており、視点や内容項目の異なる複数の教材を関連させ多様性をテーマに、広い視野で考えられる授業展開が可能となるよう工夫されている。
その他	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
	○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・多面的・多角的に考え、議論することができるよう、異なる複数の意見や関連情報などを積極的に提示している。 ・様々な分野で活躍する人や、日本の各地域に関連した内容を掲載している。教材のタイトル下に現代的課題との関連マークが示されている。
<資料の構成・配列や表記・表現>		
○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・教科書のサイズがA B版であり、写真や図版を大きく掲載している。最近の芸能人や漫画、イラストを掲載し、生徒の興味関心を高められるよう工夫されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・当該学年までの配当漢字や固有名詞にふりがながつけられている。難解な語句や必要や情報に関して脚注で説明がなされている。ユニバーサルデザインに配慮している。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【特別の教科 道徳】

書名 項目	<h2 style="margin: 0;">中学生の道徳</h2>	232 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">あか図</span>
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・教材の冒頭にマーク（4種類）が付けられており、何について学ぶかが明確になっている。 ・各学年に「オリエンテーション」のページがあり、道徳の時間はどんなことをする時間なのかを知り、授業開きの教材の前に学習の進め方を理解し、学びの意欲を高めることができる工夫がされている。 ・教材ごとに「考えの道すじ」が掲載され、ねらいに向かって生徒が考えを深めていくことができるよう工夫されている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・発問が2つに精選され、教材によりどちらか1つ選定できるようになっている。「考えを深める」を設置し、道徳的な価値に照らしてさらなる思考や対話を促している。また、「自分との対話」では、教材の学びをふまえて、自分自身や道徳的価値について問い直すことができる。 ・タイトルの下には二次元コードがあり、動画やwebなどのデジタルコンテンツを使うことができる。授業の導入や終末、授業後に参照することで、学びを広げることができる。 ・「マイ・プラス」が各学年に3本ずつ設けられ、教材を読み、問題解決的な学習や体験的な学習を通して、いろいろな視点から考えを深めることができる。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・「学習の記録」が4枚付いており、各学期の道徳科の授業について、生徒が振り返ることができるようになっている。 ・授業での自分の取り組みについて、当てはまるものに○をつける形で、全ての生徒が振り返りをできるように工夫されている。 ・教材の最後に「Thinking」というコラムページが、各学年8～10本用意されている。授業の終末や事後に読むことで、教材での学びを広げることができるよう工夫されている。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・学校教育全体で心を育むためのカリキュラムになっている。重点的に考えたい4つのテーマがユニット化され、学年ごとに連続して複数の教材を設けている。発達段階に合わせて教材を配置することで、継続して学びを広げ、深められる構造になっている。 ・内容項目一覧表が設けられ、他教科・領域との関わりが示されている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・ユニバーサルデザインへの配慮がなされている。色の識別のみならず、マークの形状やデザインの違いなどで必要な情報が読み取れるように配慮されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・未習の漢字は初出だけでなくすべてに振り仮名を付している。難しい言葉には脚注をつけ、意味を簡潔に表記している。	

## 第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【特別の教科 道徳】

書名 項目	<b>道徳 中学校</b>	233 日 科
内容	＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞	
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びたくなるめあての提示の工夫</li> <li>・課題解決に向けた「見通し」の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教材の視覚化」が図られており、教材に関連した、日常にありがちな場面の再現動画が収録されている。授業の導入部分で活用ができる。</li> <li>・「思考」する場面が重視され、グループワークで考えを交換し合う等の話し合いが中心となる構成になっている。</li> <li>・道徳の内容項目「4つの視点」をもとに、発達段階別に思考のテーマを設けている。</li> </ul>
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自身の思考を広げ深める工夫</li> <li>・学び合いの視点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①考えよう、②深めようの2点で発問が構成されており、見方や考え方が変わった、深まったことが実感できるように工夫されている。</li> <li>・古今東西の哲学者の格言に触れながら、「哲学」的視点を通して、考えを深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫</li> <li>・学んだことを理解、確認する「まとめ」の工夫</li> <li>・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の巻末付録に、「わたしたちのウェルビーイングカード」の26種類版が、道徳の授業で使える「ウェルビーイングカード」として掲載されている。このカードがあることで、生徒の考えが引き出せ、自己理解、他者理解が進み、話し合いが活発になるように工夫されている。</li> <li>・人権や交通安全等、様々な啓発月間・週間の行事に沿った配列となっている。</li> <li>・学習指導要領の内容項目順に教材が配置されていることから、生徒の実態に応じて、年間指導計画や、単元計画を工夫することができる。</li> </ul>
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞	
	<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動</li> <li>・情報活用能力</li> <li>・問題発見・解決能力の視点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトルの下に「ウェルビーイングカード」マークのある教材では、巻末にあるカードを使うのに適していて、カードの選択や共有は、タブレットを使うこともできる。</li> <li>・タイトルの下や注釈に二次元コードがあり、読み取ると様々なコンテンツにアクセスができる。</li> <li>・ファクトチェックの重要性を問う教材が用意されている。現実でありそうな身近な教材が各学年に配置されている。</li> </ul>
その他	＜資料の構成・配列や表記・表現＞	
	<p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材テキストだけでなく、動画や漫画、写真やグラフなど多彩な情報を取り入れており、多面的・多角的に学べるようになっている。</li> </ul> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1つの学習内容に対して、発達段階を考慮したテーマを学年ごとに設定した教材を取り入れている。</li> </ul>	